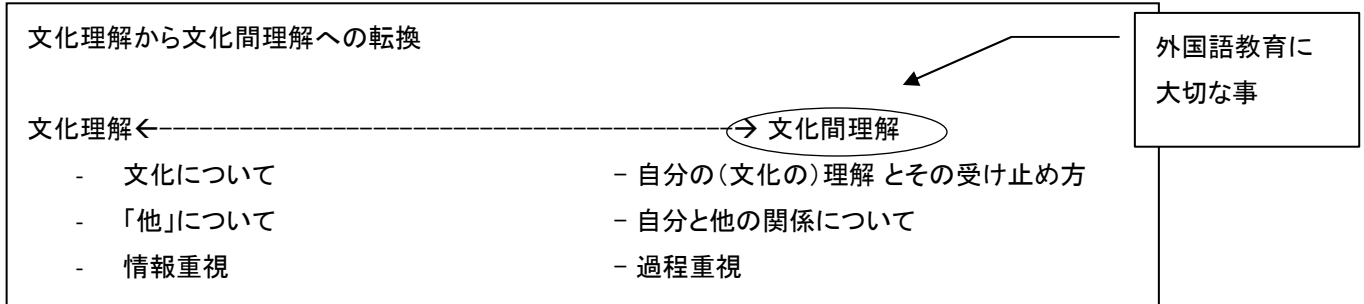


ぬいぐるみ交換交流（日本の先生用） -For teachers in Japan-

西川尚子 (オーストラリア・マロンビーナ小学校)

ぬいぐるみ交換交流プログラムを通じて、異文化体験やアルファベット、IT スキル (写真編集, 日本語と英語のワードスキル, フォトストーリー, パワーポイント, ムービーメーカーやその他ソフトウェア) 英語の文法などが教えられます。さらに、生徒は授業に興味を持ち、ますます学習意欲が湧いてきます！



また、生徒たちはグループワークを通じて問題解決を学びます。生徒達は他を批判することなくグループの課題を決定したり、公平に多数決する方法、役割分担、そして、各個人の達成度を確認する、というグループ内でのチームワークを学ぶ事も出来ます。

1. ぬいぐるみ交換に必要なもの:

- 先生と先生のやる気!!!
- (英語が出来るヘルパー)
- 他校の先生とのコミュニケーション
- デジタルカメラ
- プリンター (カラーが好ましい)
- 電子メールのスキル
- 学校のウェブサイト
- 日本や日本の学校の情報
(写真教材: 日本の小学生生活、であいウェブページなど)



パスポート



日記セット
 フォルダー入りの
 (生徒の日記& フレーズ + 辞書)

最初に送るもの:

- ぬいぐるみ
- パスポート(ぬいぐるみ用)
- お土産
- インフォメーション・パック(例)
 - 学校の写真
 - ポスター(手作り)
 - 生徒からの手紙

交換留学生をホスト中にすること:

- 日記セット
- 交流校のある学校についての勉強 (ウェブサイトや写真)

交換留学生が帰る時に用意するもの:

- 日記/手紙
- 交換留学生との写真
(遠足, 教室内での活動, スポーツ, その他...)
- 生徒の工作や手紙学校内外で作ったもの等
- お別れ会の写真
- クリスマスカード



プログラムの流れ

* オーストラリア、ヴィクトリア州の学期に合わせています。

1. 準備期間 期間: 8 週間

予定期間	準備, 授業, アクティビティのサンプル
1 週間から 3 週間目	1) 学校に交流について提案、校長、教職員の合意を確認 2) クラス担任に交流について紹介し、協力を募る 3) オーストラリアの学校に電子メールを送り、今後どのようにプログラムを運営するかを検討: 例) □文化交流 □語学交流 □両方 □電子メールや情報を送りあう頻度を設定 □先生同士の伝達手段を決定(電子メールもしくは手紙) □生徒同士の伝達手段を決定(電子メールもしくは手紙) *ジレンマ: 生徒に英語で会話を促したくても、海外の学校では生徒に日本語で交流させたい意思がある時等。 4) 生徒に交流プログラムの紹介
4 週間から 7 週間目	5) お土産を購入 例) □簡単な日本語の本 □お茶/お菓子 □日本をイメージさせるおもちゃなど □学校の記念品など(もしあれば) 6) ぬいぐるみ購入 7) 学校案内など(生徒と先生で作成) 8) 手作りプレゼント制作 e.g. □ひらがなカード □日本のおもちゃ(折り紙など) □日本文化紹介の本 □生徒の絵等
8 週間目	9) 全てのものを交流校へ郵送 *注意: 交流校の学校の休みまでに送ってください
***ステップ 3) が最初に交流校の確保として、始めなければならないことになるかもしれません	

2. 生徒をホストする 期間: 各校のプログラム次第

予定期間	準備, 授業, アクティビティのサンプル
一週間目	1) ぬいぐるみなどを受け取った旨を交流校の先生に知らせる 2) 交流校からの荷物を生徒に紹介 (他の学年にも見せると学校でホストしている雰囲気が出て、尚好ましい) 説明できる事: e.g. □交流校の時間割 □お昼ごはん (給食がなく、ランチオーダー等) □休み時間 (休み時間の決まり, 遊びの内容, お菓子を持ってきてもいいなど) □学校への往復(車通学が多いです)
2週間目からプログラムの終わりまで	3) 日記 例) □紹介 – どのように日本語と英語で日記を書くか □サンプル □週末に交代で生徒がぬいぐるみを家に持って帰れるなど 4) 遠足やスポーツなどに交換留学生(ぬいぐるみ)を連れて行く *注意: 生徒たちがうっかり、ぬいぐるみを置き忘れた時の対策に、迷子札などを付けてください (学校の住所、電話番号、連絡先の名前など) 5) ウェブ会議 – オプションですがインターネットでビデオ会議が出来ます 6) 電子メール – オプション 7) 最低一ヶ月に一回は近況報告に電子メールのやりとり
アクティビティの提案 学校の指導要項に沿ったアクティビティが出来ます <ul style="list-style-type: none"> ● 朝礼(全生徒にぬいぐるみ交流とぬいぐるみたちの紹介) ● 文法練習 (過去形, This is ..., 動詞, 形容詞など) ● 生徒のデジタル記録の保存 (Movie Maker, Power Point, Photo Story) ● ワードプロセッシングの練習 (日本語や英語で) ● 翻訳の練習 (辞書や単語帳を使って) ● 日本や交流校の国の記念日など(クリスマス、アンザックデイ、サマーホリデーなど) ● アルファベットの練習 (交流校へ何かを送る練習など) ● 実践的な算数の授業に: 日常的な物価、おもちゃ、電化製品などの値段の比較(割り算や分数など)、両替(掛け算、割り算などを導入) ● 社会の学習に(地理や輸出入など、グローバルなものを見方を育てる) ● 異文化間理解・交流の促進 ● クラス新聞などの練習に、日本語の文章力も育みます 	

3. 生徒の帰国 期間: 学期末から5週間前

予定期間	準備, 授業, アクティビティのサンプル
学期末から 5週間前	1) 交流校の先生にいつぬいぐるみを返すか連絡 2) 生徒と何をお土産に持たせるか相談
学期末から 4週間前	3) お礼の手紙やグリーティングカードを作成 4) お土産購入 5) お別れ会やクリスマスパーティを学級で 6) 荷造り
学期末から 3週間前	7) 荷物の郵送日を交流校に連絡
学期末から 2週間前	8) 交流校から帰ってきたぬいぐるみのお帰り会を学級で 9) 学校新聞などで交流終了の記事 -*オプション 10) 朝礼でぬいぐるみや交流校からのお土産の紹介 -*オプション
学期末最後	11) 次のプログラムに向けて交流校に連絡(電子メールなど)

先生方と生徒さんがぬいぐるみ交流を楽しんでくださいますように☺